

会 議 録

(1 / 7)

| | | | | | | |
|--------------------|-----|---|----|------|------|-----|
| 会議名 (審議会等名) | | 令和 6 年度 第 1 回相模原市市民協働推進審議会 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | 市民協働推進課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 2 5 (直通) | | | | |
| 開催日時 | | 令和 6 年 6 月 2 1 日 (金) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 | | | | |
| 開催場所 | | 相模原市役所 第 2 別館 3 階 第 3 委員会室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 1 2 人 (別紙のとおり) | | | | |
| | その他 | 0 人 | | | | |
| | 事務局 | 6 人 (市民協働推進課長、同課総括副主幹 2 人、同課主査、同課主任 2 人) | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0 人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | | | |
| 会議次第 | | 1 開会 2 議題 (1)相模原市市民協働推進基本計画の成果指標について【資料 1】 3 その他 4 閉会 | | | | |

1 開会

中村会長の挨拶の後、審議会規則に規定する定足数を超えたことが確認され、審議会が成立していることの報告があり、第1回会議を開会した。傍聴希望は、当初なかったが、途中希望があった場合、傍聴を認めることとした。

2 議題

(1) 相模原市市民協働推進基本計画の成果指標について【資料1】

事務局から、【資料1】に基づいて、令和5年度の実績について説明を行い、成果指標について見直しを行わない旨、方向性が示された。

【主な意見等】

(竹田委員) 【資料1】計画全体に設定した成果指標の指標1の算出方法を教えてほしい。施策1-3の成果指標で、さがみはら地域ポータルサイトへの年間アクセス(ページビュー)数とあるが、【さがみはら地域ポータルサイト】と【さがみナビ】は別のものか。

(事務局) 市役所の政策課で、毎年、市民アンケートを実施しており、その総回答数が母数となり、直近1年間で、市民活動を行ったと回答した方の割合として算定している。さがみはら地域ポータルサイトは、市と市民活動団体の協働で運営しているサイトで、登録された市民活動団体のホームページの作成や、ブログ等の掲載を行うこともできるものである。【さがみナビ】とは別のものである。

(西本委員) さがみはら地域ポータルサイトは、最初は協働事業としてスタートした。市民の様々な活動を教え合うサイトを作りたいという思いから事業が始まった。世間でもフェイスブックや などのSNSが始まったばかりの頃で、同じようなものを作ろうとして始まった。一番の特徴は、説明があったとおり、市民活動団体のホームページを無料でつくれることである。年間に2回ほど講習会も行い、新規開設と更新したい団体向けに講習会を行っている。登録団体数は増えており、130団体ほどの市民活動団体がサイトを持ち、日頃の活動についての周知の場として活用している。

(竹田委員) 資料1 施策1-3の説明において「さがみはら地域ポータルサイト」の更なる充実を図るとあるが、この目標の指標はあるのか。

(事務局) 対応する成果指標として、さがみはら地域ポータルサイトへの年間アクセス数を指標としている。

(今村委員) 昨年度の目標に対する実績では、コロナ禍における市民活動が厳しい状況にあるとの報告を受けたが、今年度は回復傾向にあり安心した。私に関わる他の自治体でも、今年度市民活動公益活動のリバウンドが良い意味で起きていると感じており、相模原市もその流れにあるということに安心をしている。

その上で、委員の皆様感想をいただきたい。数値で良い方に転じているからといって、本当に現場や日常や街中がそうなっているとは限らないこともあるため、委員の皆様の率直なところをお伺いしたい。そこに大きなずれがなければ、この指標を変更する必要はないと思うが、もしずれているのであれば、指標についても検討議論が必要であると感じた。各委員から感想をご教授いただきたい。

(妻鹿委員) 協働事業提案制度に関わった者として、感じたことをお話しさせていただく。資料1の6ページ施策5-1だが、指標が令和4年度はS評価で令和5年度はA評価で、D評価は1度もついていない。令和5年度の実績は10件であるが、事務局からはこの他に事前相談シートの提出まで至らない相談がいくつかあったと聞いている。一方、市全体の課題であるとか各区の地域課題の状況を考えると、A評価がついているから、これで大丈夫とは言えないのではないかという気はする。令和より前の応募や活動のことを考えると、もっと件数が多かった。毎年の取り組みも、停滞気味にあるところにコロナ禍があり、取り組めないことが多くなった。そこに比べたら、やや回復傾向にはあるとは言えるが、手放して、このままで大丈夫とは言えないというのが肌感覚で感じるところである。

(竹田委員) コロナ禍を経て、市民活動地域活動を行おうという動きは多くなっている。ただ、何をしたら良いのか、どう行えば良いのか、どこで行えば良いのかが分からないというのが現状だと思う。先ほど話にあった、さがみはら地域ポータルサイト等で調べる人は多くおり、相当数問い合わせがあることも実感としてある。そうした調べる手段を充実させる必要性は大変感じている。もっとこうしたものを使うと、活動は広がってくると思う。活動したいという人は大勢おり、活動場所は近くなければいけない。まずは外に出ることが大切で、様々な人と知り合いになって、こうした地域活動や市民活動に繋がっていくのだと思う。

先ほど、【資料1】計画全体に設定した成果指標の指標1の地域活動・市民活動に参加している市民の割合を話に出したが、ボランティアや地域活動をしていますかと問われると、実際には活動しているにもかかわらず、それがよくわからず、こうした数字になっているのかと思う。

(妻鹿委員) 施策 6 - 3 や施策 4 - 4 のような新規分の報告が増えていると思うが、これはどのような形で、新規の報告を受けられるのか事務局に伺う。

(事 務 局) こちらは、対応する成果指標の設定はしておらず、取り組んだものについて評価をしていくものである。また、新規というのは、令和 2 年度の計画設定時の段階で新規で設定された施策との意味である。

(大貫委員) お祭りや子どものお神輿等は、コロナ禍が終わっても復活していないものが目に付く。それを何とか戻そうとしても、1 回辞めたものが、なかなか戻っていないと感じる。地区でやっているドッチボールや野球等も、今までは自治会単位で行えたものが、1 ヶ所でできなくて、いくつかで合同で行うような状況にある。子どもの数が少なくなっている部分もあると思うが、1 度なくしたものを再び復活させるのは難しいということが実感としてある。竹田委員からも話があったが、外に出ることが大切であり、活動場所は近くなければいけないというのは共感する部分である。

(竹田委員) 無くなったイベントについて、無くなって何もなかったからいいじゃないかということになってしまっている。また、夏の異常な暑さが、イベントの再開の妨げになっていると感じる。夏祭りを夕方から実施することや神輿を無くして、夕涼みとする等、形を変えて行っていく必要があり、少人数でできることも重要であると思う。

運動会もだんだん無くなってきて、何をしようかと考えたときにポッチャを実施した。想像を超えた参加があり、大変好評であった。時代のニーズは変わってきており、多くの人が何を望んでいるのか、何に困っているのかの問いかけがこれからは必要になってくると感じている。

(中村会長) 今村委員からも指摘があったが、成果指標の目標値及び実績値は、数字で表すものであり、目標にどれだけ近づいていくかという点では、目標があること自体が、素晴らしいことだと思うが、実際に、実感としてどうなのかというところからすると、数字にあらわれない部分も多いと思われる。数字にあらわれない部分に、市民協働をどのように推進していったらいいのかという、その辺りを審議会として打ち出しながら、助言していくことが重要と思うため、各委員からの発言を集約し、関係団体や担当課の方にも、伝えていただき、つなげていけるようにしていただければと思う。

(中村会長) 令和 9 年度の最終目標に関しては、変更しないことを前提に、令和 6 年度から 8 年度までの成果目標値の設定について事務局から説明いただきたい。

(事務局) 本計画の中間目標の令和5年度と最終目標の令和9年度の目標値は、計画策定段階で設定されていた。この令和6年度から令和8年度の目標値は、現在未設定であるが、仮設定として、資料1に記入させていただいている。

先ほど成果指標については、見直しは行わず、こちらを踏襲した形で推進する方向性をいただいたところで、仮設定している目標値についてご説明させていただく。基準年から令和9年度までを均等割りして設定する形ではなく、令和5年度の実績値から最終目標値に向けて、均等割りしたものを仮設定している。資料1 計画全体に設定した成果指標の指標1をご覧くださいと、令和5年度の目標値は54.7%となっているが、54.7%から最終目標という形ではなくて、令和5年度の実績値の49.0%から、令和9年度、目標値までを均等割りした形で設定したいと考えている。そのため、指標1は、令和5年度の目標値よりも、令和6年度の目標値が下がることになるが、下の指標2では、令和5年度の実績値が235件で、令和9年度が244件なので、その間のところを均等割りしたものを令和6年度から令和8年度に設定するものである。理由としては、実績から最終目標値をつなぐことで、実態に即した効果的な目標値として設定できると考えるためである。このことについて、ご意見等伺いたい。

(今村委員) 項目そのものを変えない前提で、各数値の議論をすべきなのか、項目そのものへの議論も求められているのか確認したい。

(事務局) 項目そのものは据え置きという形で、各年度の令和6年度から8年度の未設定となっている目標値を設定する必要があり、設定の仕方として、実績値から最終目標値までをつなげたものを設定しようとしており、設定方法について伺いたいと考えている。

(今村委員) 項目は、変えないことを前提として計画が設定されているのか、変えない方が良からうということ、根拠が何かということを確認したい。

(事務局) 本計画は、令和2年度から令和9年度までは、この項目で進めていくことを前提として策定している。

(今村委員) 異論なく、地域の皆様からも、この指標に対する違和感がないということ、先ほど確認できたかと理解しており、根拠について納得できたので、承知した。

(今村委員) 先ほど妻鹿委員からお話があった施策5-1の協働事業提案制度の年間事前相談件数だが、これは高い水準で推移しており、私も安心だと見ていたが、妻鹿委員がおっしゃるには、平成はもっと件数があり、これだけ

の実績値があってもAやSの評価をするのはいかがなものかというコメントがあったかと思う。それについてももし見直しの議論が今できると良いと感じたがいかがか。

(妻鹿委員) その前に、一つ確認したいのだが、この令和9年度の目標値というのは、この審議会で議論され、定められたという理解でよろしいか。

(事務局) 本計画策定時には、計画策定の作業部会が組織され、そこでご議論いただき、最終目標値、中間目標値が設定された。

(妻鹿委員) それを踏まえてということで、おそらく、施策5-1の協働事業提案制度の年間事前相談件数のところは、10件以上ということで、やや丁寧な議論をしていないのではないかと感じるが、多いから良いというものではなく、一定のクオリティーのものが10件以上あるということなのかと思われる。実績値から目標値までを均等割りして終わりではなく、丁寧に積み上げた方が良いのかなと思いつつ、その方法は何かと言われると、すぐに代わりの方法を申し上げられるわけでもなく、均等割というのが無難なところだと思われるが、一つ一つ指標になっている根拠、実質的な人数や件数がある中では、やや安易なやり方かなと思わないではない。

(中村会長) 計画策定時に、私も妻鹿委員も参加していたが、今現在残っていらっしゃる委員はいるか。

(事務局) 西本委員が当時計画策定の作業部会にご参加いただいた。

(西本委員) 当時作業部会はかなりの回数が開催され、数値をどの程度精度よく確認できたかは分からないが、5人の委員で、この本審議会とは別に複数回実施した。作業部会で内容を決め、本審議会で採択していただいたことは間違いない。

(中村会長) 8年間の計画なので、コロナ禍という予想できなかった事態も生じた。計画については、3年5年毎に数値目標等を実態に合わせて、変えていくような手法もあるが、今回の場合は、8年計画で令和9年度までの数値目標が設定されていることもあり、それに合わせる形で令和6年度から令和9年度の最終目標までに達成できるように、どう推進していくかが重要となる。もちろん、先般各委員から発言があるとおり、数字ありきではないが、まずはそれを達成し、超えていくことを目標とする。今後とも、内実ともに、それが充実していくよう、この審議会の中で議論がさらに深められていったら良いと思うがいかがか。

(各委員) 異議なし。

(中村会長) 事務局から提案があった数値目標で設定いただければと思う。

3 その他

(1) 令和 6 年度公開事業報告会結果報告

事務局から別紙【令和 6 年度公開事業報告会結果報告】について報告され、当日の様子について妻鹿委員から補足でご説明いただいた。

(2) 9 月以降の審議会委員体制について

事務局から【令和 6 年 9 月以降審議会委員名簿(予定)】について報告され、今期で退任される中村会長、妻鹿委員、米山委員、西本委員からご挨拶いただいた。

4 閉会

全ての審議が終了し、閉会した。

以 上

相模原市市民協働推進審議会 委員名簿

(令和6年6月21日開催)

| | 氏名 | 現職 | 備考 | 出欠 |
|----|--------|--|-----|----|
| 1 | 青木 庸江 | 相模原商工会議所 女性会会長 | | 出席 |
| 2 | 石川 壽々子 | 社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 理事 | | 出席 |
| 3 | 今村 亮 | 認定特定非営利活動法人カタリバ パートナー 桜美林大学高大連携コーディネーター | | 出席 |
| 4 | 長澤 敬子 | 相模原市公民館連絡協議会 副会長 | | 出席 |
| 5 | 大貫 君夫 | 相模原市民生委員児童委員協議会 会長 | | 出席 |
| 6 | 今野 紀代美 | 特定非営利活動法人 市民フォーラム さがみはら 副代表理事 | | 出席 |
| 7 | 高橋 讚良々 | 公募委員 | | 欠席 |
| 8 | 竹田 幹夫 | 相模原市自治会連合会 会長 | 副会長 | 出席 |
| 9 | 中村 律子 | 法政大学 名誉教授 | 会長 | 出席 |
| 10 | 西本 敬 | 特定非営利活動法人 さがみはら市民会議 理事 | | 出席 |
| 11 | 妻鹿 ふみ子 | 東海大学 健康学部 教授 | | 出席 |
| 12 | 八木 さやか | 公益社団法人 相模原青年会議所 | | 出席 |
| 13 | 山岸 絵美理 | 大月市立大月短期大学 准教授 | | 欠席 |
| 14 | 山辺 雄翔 | 公募委員 | | 欠席 |
| 15 | 米山 敦子 | 特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら | | 出席 |